



DOCOMO TEAM DANDELION RACING Team Release

決勝レポート

2025/7/20 Rd-7 FUJI SPEEDWAY

天候：晴れ 気温：29℃ 出走台数：22 台

観客数：18 日(金)3,200 人、19 日(土)22,900 人、20 日(日)27,300 人 合計 53,400 人

午前中に行われた予選に続いて開催された第 7 戦決勝。

14:20 から開始されたスタート進行だったが、サーキットのタイム計測装置のトラブルでスケジュールは大幅ディレイ。レーススタートは予定より **40 分** 以上遅れることになった。

2 番グリッドスタートの太田選手は素晴らしいスタートを決め、**1 コーナー**でトップを奪う。しかし **13 コーナー**で坪井選手に先行され **2 位**キープでオープニングラップを周回。

牧野選手もいい蹴り出して **2 台**をパスし **7 番手**に上がる。

タイヤ交換ピットウィンドウのない本大会、序盤からタイヤ交換をするライバルがいる一方、チームはレース中盤でのピットインタイミングを計っていた **18 周目**、トラブルでストップしたマシン発生のためセーフティーカーが導入されるとタイヤ交換を済ませていなかったマシンは全車ピットレーンへ。

チームは太田、牧野の順でダブルピットストップをミスなく済ませコースに送り出す。

この時点で太田選手 **3 番手**、牧野選手はダブルストップの影響で **8 番手**。

24 周目にレースが再開されると、**3 番手**太田選手は上位 **2 台**が激しくトップ争いをするのを冷静に見定めオーバーテイクシステム(OTS)とタイヤを温存。残り **9 周**で一気にトップ浮上すると、毎周 **1 秒**近くリードを広げ圧巻のトップチェッカー。

牧野選手は **7 番手**争いを繰り広げるが届かず、**9 位**でレースを終えた。

5：牧野任祐 選手 9 位

スタートが決まり、セーフティーカーが入るまでのペースは昨日よりもフィーリングよく、しかしトップに比較すると **0.2 秒**ほどのペース差がありました。

富士公式テストでの好感触が再現できず、この週末通してもはっきりとした解決策も見いだせていないので、次戦 **SUGO** に向けてはこの結果をよく検証しなければいけません。シーズン後半で巻き返すことが出来るよう取り組みたいと思います。

6：太田格之進 選手 1 位

レースペースに自信あり、ポテンシャルもあり、決勝は我慢のレースというか、どこかでトップに出る気持ちで、タイヤと **OTS** をマネジメントしながらチャンスを狙っていました。富士で優勝できましたし、後半残り **2 回**の富士にも自信を持って臨むことが出来ます。自分自身の中では、これまでで最高のレースだったと感じています。